

第2回 新宿の拠点再整備検討委員会

1. 日時・場所

平成29年8月31日（木）10時00分～12時00分，都庁第二庁舎 31階特別会議室22

2. 出席者

別紙 出席者名簿のとおり

3. 議事

- (1) 第1回新宿の拠点再整備検討委員会の意見と対応について
- (2) 新宿駅周辺の現状と課題について
- (3) 新宿の拠点再整備の方向性について
- (4) その他

4. 配布資料

次第

資料1	第1回新宿の拠点再整備検討委員会の意見と対応
資料2-1	新宿駅周辺の現状と課題について（目次）
資料2-2	新宿駅周辺の現状と課題について
資料3	新宿の拠点再整備の方向性について
参考1-1	検討体制
参考1-2	第1回新宿駅周辺地域まちづくり協議会の主な意見

5. 議事録

＜報告事項：第1回新宿駅周辺地域まちづくり協議会の主な意見について＞

（事務局より資料説明（参考1-1・1-2））

意見なし

＜議事＞

- (1) 第1回新宿の拠点再整備検討委員会の意見と対応について
 - (2) 新宿駅周辺の現状と課題について
 - (3) 新宿の拠点再整備の方向性について
- （事務局より資料説明（資料1～3））
（意見交換）

〔岸井会長〕

- 資料2-2の6ページに大規模建築物の築年数の色分けがされているが、その他の小規模な建物の築年数は把握しているのか。

〔事務局（新宿区）〕

- 資料2-2の5ページの建物用途別延べ面積の推移で新宿駅東口の平成13年と平成23年の用途別延べ面積を見比べると、それほど増えていないので、建物の更新が進んでいないと読み取れる。

〔岸井会長〕

- 駅周辺の整備が動き出すと周りに当然影響が出てきて、現段階では計画がなくても建替えの可能性があるのか把握しておきたい。大体の築年数は分からないのか。

〔事務局（新宿区）〕

- 地元の新宿EAST推進協議会がまとめた資料では、新宿駅東口地区では1981年以前に建築された建物が約54%である。

〔岸井会長〕

- 駅近傍の建物がどれぐらいの築年数かというのが一番関係すると思うので、データがあれば教えて欲しい。

〔東日本旅客鉄道株式会社 総合企画本部 品川・大規模開発部次長〕

- 資料2-2について渋谷区側のデータが追加され、だいぶ俯瞰して見られるようになってきたが、例えば11ページの宿泊で小田急ホテルセンチュリーサザンタワーが抜けているなど、まだ拾い切れていない部分があるので、引き続き精査して欲しい。
- 資料3の5・6ページについて、まちづくりの骨格は新宿中央公園から新宿御苑にかけての大きな軸があり、今回は新宿駅の直近地区にフォーカスして再編やまちづくりをしようとしているところは見て取れる。
- 駅直近地区を整備した効果を将来周辺に波及させるためのステップや、将来に向けてどういう方向性を目指すのか分かりにくいので、骨格と将来のつながりをもう少し議論したほうがよい。

〔事務局（東京都）〕

- 資料3については現在まだ作成過程であり、これからの議論を踏まえて周辺地区とのつながりなどを次回に向けて整理していきたい。

〔警視庁 交通部 交通規制課 都市交通管理室長〕

- 資料3の7ページに再編のイメージとしていろいろな軸があるが、車両系機能の軸も示したほうがよい。

〔岸井会長〕

- 絵としてはもう少し外側まで入れて、幹線系のネットワークがこの地区をどのように支えているのか分かるとよい。

〔東京都 都市整備局 都市づくり政策部長〕

- 資料2-2の42ページの防災について、帰宅困難者や地上レベルでの避難場所は表示されてい

るが、地下ネットワーク全体での安全性の確保をどのように考えられているのか。

〔事務局（新宿区）〕

- 新宿駅周辺地域では都市再生安全確保計画などを策定しており、地域全体の考え方は示している。

〔岸井会長〕

- 防災を議論するならば、資料2-2に防災センターの位置や安全確保計画における滞留想定などを表現しておく必要がある。

〔中井副会長〕

- 資料2-2の15ページの乗換えと駅～まちのグラフの部分について、乗り換えが3分の2で65.7万人、駅～まちが31.1万人とあるが、これは定期券利用者であり、定期券以外の利用者分はどのように考えたらいいのか。26ページの駅利用者の方面別分布と合わせて見ると駅～まちが約60万人いて駅同士の乗り換えも約60～80万人くらいになるが、平日のオーダーとして考えていいか。
- 世界一の数の乗降客が駅を利用してまちへ出ていったり、駅間で乗り換えたりしているということから、それぞれの個別の駅ではなく、駅直近地区全体が1つのグランドターミナルとして考えることはボリューム感から考えても妥当である。
- 資料3の5・6ページのまちづくり骨格図と再編内容の整合が取れるともう少し分かりやすくなる。特に、鉄道駅と駅ビル群と駅前広場・道路などの基盤施設などを全部合わせてターミナルだということを打ち出してもよい。

〔事務局（東京都）〕

- 資料2-2の15ページの乗換えと駅～まちのグラフの部分について、指摘のとおり、定期券利用者の乗り換え流動なので、26ページの歩行者流動の分布のうち、右側の棒グラフの私事、買い物等が含まれていないものと考えられる。
- 私事を含めた乗換え・駅とまち流動状況について、今年2月におこなった調査結果をもとに分析中である。オーダー感としては、指摘のとおり駅～まちと乗換えが半々だと思う。

〔岸井会長〕

- これだけ大きな世界一のターミナルである新宿駅を我々はどうしようとしているのか、都民にうまく説明する必要がある。
- これまでの歴史的経緯を見ると、各鉄道会社が鉄道を乗り入れたときに鉄道の上にビルを作ったりして個別に努力してきており、それが結果的に駅が見えない状況を生み出した。周辺のビルの建替え時期が来た今、個別の建替えだけを考えて同じことを繰り返すのではなく、各事業者が協力して駅周辺も含めた全体像を考えることが必要である。

〔国土交通省 都市局 市街地整備課 拠点整備事業推進官〕

- 資料3の5ページの東西軸について、何のために必要で、どういった役割を担うのか、しっかり位置付けを明確にしたほうがよい。

〔東京都 交通局 企画担当部長〕

- 資料3の8ページについて、使いにくい駅施設と駅前広場という物理的な課題の中にバス乗降客が1/5に減少という記載は、違和感がある。資料2-2の12ページの他のターミナルとの比較の中で記載すればいいのではないか。

〔事務局（東京都）〕

- 資料3の8ページでは、バスの利用客が減っているということよりも、駅前広場ができてから50年経ち、使われ方が変わってきているという認識で記載しており、今でも新宿駅のバスが非常に多く、一大交通ターミナルとしての重要性も大きいと認識している。
- 記載方法については、今後調整させて頂きたい。

〔東京都 交通局 企画担当部長〕

- バス事業者がこの場に東京都交通局しかいないが、新宿駅のように多くのバス事業者が多くのバス便を抱えているのは非常に珍しいケースなので、委員ではない他の4社にも意見を聞くなど配慮して欲しい。

〔事務局（東京都）〕

- この委員会については鉄道事業者等を中心に議論を深めるということで限られた人数で行っている。他の関係者にも、個別に意見照会する等、事務局で対応する。

〔岸井会長〕

- 事業者だけでなく地元協議会等はどうするのか。

〔事務局（新宿区）〕

- 今回の資料をもとにまちづくり協議会に報告し、意見をもらう。

〔東京都 建設局 道路計画担当部長〕

- 全体にわたって駅と道路がまちを分断しているという内容で資料の議論が展開されている印象がある。今回のメインテーマである『車から人へ』という視点で見たときに、歩行者動線の現状を改めてみると歩行者空間が不足しているということだと思うが、道路をなくして歩行者をフリーにする話ではないと思うので、車両に必要な軸も含めた記述を入れるなど、配慮する必要がある。

〔岸井会長〕

- 資料3の6ページでは景観の表現があまりないので、駅とまちやまちとまちのつなぎの部分で、駅が見えるようにする等の表現をどこかに補強したほうがよい。

〔事務局（東京都）〕

- 景観の表現を盛り込むように検討する。

〔中井副会長〕

- 今回、一体的な大きなターミナルという新しい概念で再整備することを前提とすると、公共空間の段差などは当然解決しなければいけないレベルの話である。基本として、全部解決するつもりで取り組まないと、一体的なターミナルが言葉だけのものに捉えかねないので、東京都だけでなく、各事業者にもお願いしたいことがたくさん出てくると思うが、よろしく願います。
- 60年代に先輩たちが苦勞して作られた日本で一番有名だと言える新宿西口駅前広場を、50年

経って造り替えるということは、普通の駅前広場とは注目度合いが全く異なり、本委員会メンバーの責任は極めて重いと言わざるを得ない。せつかくの機会なので色々な課題はあると思うが、大きな方向性としては歩行者の方に視線を切り替える必要がある。

- 駅ビルと広場をこれだけの規模で一体的に改造できる機会には本当はないので、景観・デザイン・空間の設えといったものを、広場の主体である公共団体だけでなく、色々な事業をしようとしている事業者も含めて作り上げることが重要である。一体的なものであるから皆でやらないと後で本当に恥ずかしいことになるということ、この場で共有することが非常に大事である。

〔事務局（東京都）〕

- 一体的空間を末端だけで処理できるものではないので、今お集まりの皆の知恵を頂かないと1つの成果として成し得ないものである。各事業者の意見を伺いながら、場合によっては意見がお互いバッティングするところもあるかもしれないが、よろしく願います。

（4） その他

〔事務局（東京都）〕

- 整備方針を検討するため、各社の事業活動に関することも含め、率直な意見の交換をしたいので、以降の議事の取扱いについて、お諮りしたい。

〔岸井会長〕

- 以降の議事は、設置要綱第7条第4項の規定に基づき、非公開とする。

〔事務局より事務連絡〕

以上

第2回 新宿の拠点再整備検討委員会 出席者名簿

職	区分	所属・役職等	備考	
会長	学識	日本大学 理工学部 教授 岸井隆幸		
副会長		東京工業大学 環境・社会理工学院 教授 中井検裕		
委員	行政	国土交通省 東京国道事務所長		
〃		東京都 都市整備局 都市づくり政策部長		
〃		東京都 都市整備局 都市基盤部長		
〃		東京都 建設局 道路管理部長	代理	
〃		東京都 建設局 道路保全担当部長	代理	
〃		東京都 建設局 道路計画担当部長		
〃		東京都 交通局 企画担当部長		
〃		新宿区 都市計画部長		
〃		新宿区 みどり土木部長		
〃		渋谷区 都市整備部長		
〃		鉄道事業者	東日本旅客鉄道株式会社 総合企画本部 品川・大規模開発部次長	
〃			小田急電鉄株式会社 プロジェクト推進本部 新宿プロジェクト推進部長	
〃			東京地下鉄株式会社 事業開発本部 不動産事業部長	
〃	京王電鉄株式会社 開発事業本部 開発企画部 新宿再開発推進室長			
〃	西武鉄道株式会社 鉄道本部 計画管理部長		代理	
オブザーバー	行政	国土交通省 都市局 街路交通施設課 街路事業調整官	欠席	
〃		国土交通省 都市局 市街地整備課 拠点整備事業推進官		
〃		警視庁 交通部 交通規制課 都市交通管理室長		
(事務局)	新宿区 都市計画部 新宿駅周辺整備担当課 東京都 都市整備局 都市基盤部 街路計画課 東京都 都市整備局 都市づくり政策部 開発企画課			